



船舶事故分析集

遊漁船の衝突事故防止に向けて

1. はじめに	1
2. 衝突相手船の種別・事故の死傷者数	2
3. 事故時の航行状態・相手船の認知状況	3
4. 「航行中」の遊漁船の事故要因（相手船の認知状況別）	4
5. 「漂泊又は錨泊中」の遊漁船の事故要因（相手船の認知状況別）	5
6. 遊漁船の衝突相手船の状況（遊漁船の航行状態別）	6
7. 遊漁船衝突事故の事例	7
コラム	10
8. まとめ	12

1. はじめに

昨今の生活スタイルの変化により、屋外で手軽に楽しめる「釣り」が注目されており、船釣りや磯釣りなどの遊漁も人気が高く、遊漁船の果たす役割も大きくなっています。

一方、遊漁船が関係した人命にかかわる船舶事故が後を絶たない状況にあり、釣り客を乗せる遊漁船には、安全に対する意識の高揚がより一層求められています。

平成 28 (2016) 年から令和 2 年(2020)までの 5 年間に発生し、運輸安全委員会の調査対象となった遊漁船が関係した船舶事故等（事故及びインシデント）をみると、平成 28 (2016) 年に、36 件の事故等が発生し、うち 15 件(41.7%)が他船との衝突事故であったのに対して、令和 2 (2020) 年には、51 件の事故等が発生し、うち 29 件(56.9%)を他船との衝突事故が占め、近年増加傾向にあります。(図 1 参照)

そこで、本ダイジェストでは、遊漁船の衝突事故防止に向けて、事故の発生状況と事故事例とともに、事故防止に向けたポイントについてまとめることとしました。

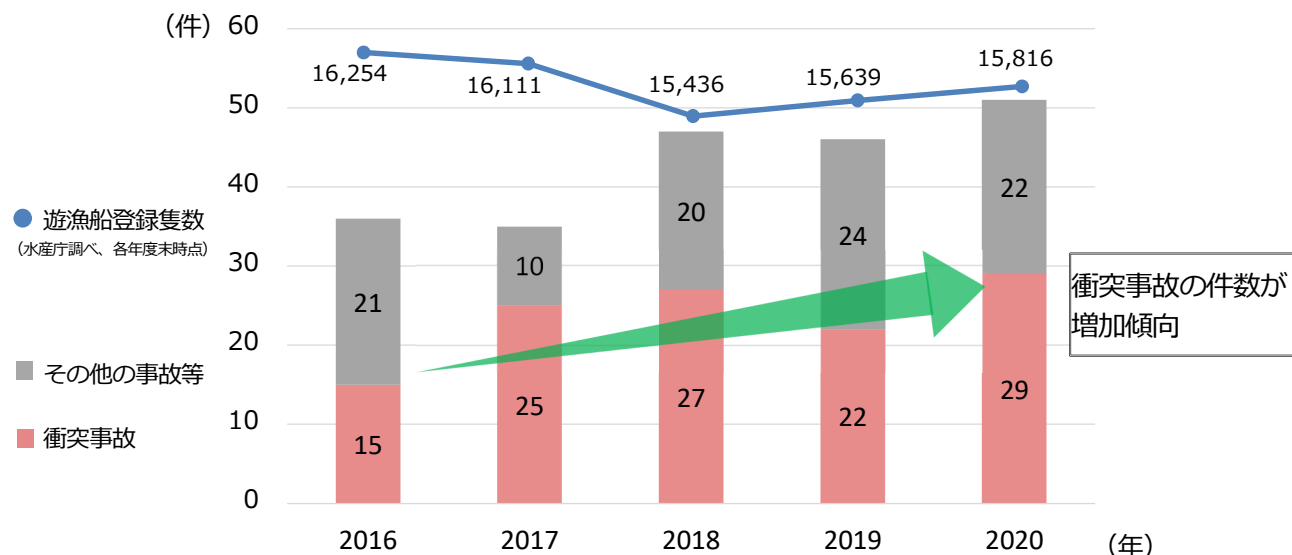


図 1 遊漁船が関係した船舶事故等発生件数の推移